

令和元年度熊本県立矢部高等学校運動部活動に係る活動方針

1 本校の運動部活動

バレーボール・野球・弓道・卓球・バスケットボール・陸上競技部・二輪車競技部
サッカー・日本拳法・ソフトテニス

2 目標

- (1) 生徒が豊かな学校生活を送りながら、人格を形成していくという運動部活動の基本的意義を踏まえ、勝利至上主義に陥ることなく、生徒の主体性や個性を尊重し、「競技志向」や「楽しみ志向」、「仲間づくり志向」や「健康づくり志向」等、生徒の多様なスポーツニーズにこたえ、一人一人が自主的・計画的に活動できるような運営に努める。
- (2) バランスのとれた生活やスポーツ障がい・外傷を予防する観点から、練習日数や1日あたりの練習時間、休養日等の適切な設定を行う。また練習及び練習試合等の実施については、生徒の安全確保を最優先し、適切な対応を行うなどして生徒の健康・安全に配慮した運営に努める。

3 練習日、練習時間

(1) 練習日

- ア 1週間の練習日は、5日以内とする。このうち、毎週水曜日は原則完全休養日とし、土曜日及び日曜日（以下、「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動する場合は、あらかじめ該当週又は次週に振替休養日を設けることとする。
- イ 定期考査の1週間前からは、練習を中止とする。但し、定期考査終了後3週間以内に運動競技会（公式戦等）を控えている場合は、「考査時活動許可願」を提出し、校長の許可を得た場合のみ練習を許可する。
- ウ 夏季及び冬季休業中の閉庁日は、原則、練習を行わない。但し、閉庁日最終日から3週間以内に運動競技会（公式戦等）を控えている場合は「閉庁時活動許可願」を提出し、校長の許可を得た場合のみ練習を許可する。

(2) 練習時間

- ア 平日は長くとも2時間程度、休業日（学期中の週末も含む）は3時間程度とする。なお、原則朝練習は行わない。
- イ 完全下校時間を厳守する。

(3) 完全下校時間

ア 平日	19：30
イ 休業日及び長期休業期間	18：00
ウ 考査時特別許可	18：00
エ 閉庁時特別許可	18：00

(4) 共通の休養日

ア 毎週水曜日

イ 定期考査前及び定期考査中の一定期間

① 9月25日	～10月 3日（2学期中間考査）	9日間
② 11月15日	～11月26日（2学期期末考査）	12日間
③ 2月 6日	～ 2月17日（学年末考査）	12日間

ウ その他

8月11日	～	8月15日（夏季学校閉庁日）	5日間
12月29日	～	1月3日（冬季学校閉庁日）	6日間

(5) 上記(1)及び(2)の基準を超えた練習日・練習時間

ア 休養日

生徒の実態、競技の特性及び大会のスケジュール等の観点から、次の運動部については、生徒の能力・適性や、健康・安全に十分配慮することにより、休養日を週当たり1日以上とする。

「 該当運動部活動なし 」

イ 練習時間

生徒の実態、競技の特性及び大会のスケジュール等の観点から、次の運動部については、平日では3時間程度、休業日では4時間程度を上限として活動する。ただし、週当たりの練習時間は16時間未満を目安とすること。

「 野球部 」

ウ その他

大会スケジュール等により、練習時間の延長や朝練習の実施ができるものとするが、この場合、希望する運動部は、事前に校長の承認を得ることとする。

4 練習試合、合宿等

ア 練習試合や合宿等の実施にあたっては、運動部顧問が、1週間前までに練習相手、試合日、場所、時間、引率等について明記した「参加伺」を校長に提出し、許可を得る。

イ 練習試合や合宿等の実施については、「5 運動競技会（公式戦等）への参加」に準ずる。

5 運動競技会（公式戦等）への参加

運動競技会（公式戦等）への参加は、高体連主催大会を原則とするが、その他の団体が主催する大会への参加については、事前に校長の許可を得ることとする。なお、いずれの場合も運動部顧問は、1週間前までに大会名、主催者、大会期日、会場、引率等を明記した「参加伺」を校長に提出し、許可を得る。

6 その他

(1) 運動部活動顧問会議

ア 年度始めに顧問会議を実施し、共通理解を図る。

イ 定期的に部長会、部活動集会等を開催し、目標の共通理解を図り、部活動の活性化につなげる。

(2) 部費の徴収について

ア 部費等、取扱いについては公費に準ずることとし、適切に管理する。

イ 決算報告については、校長に提出し、保護者に報告する。保護者会を有する運動部については、保護者会にて決算報告を実施し、校長へ報告する。

(3) その他

運動部顧問は、年間の活動計画並びに毎月の活動計画及び活動実績を活用し、日々の活動状況等を把握するとともに、生徒理解に努める。また、保護者に部活動通信等で活動計画・報告を行い、部活動への理解と協力を得ることができるよう努める。